

新たな冬の風物詩「サル山でたき火&焼き芋タイム！」を開催します
 ～今年は来園者向けの焼き芋販売も行います～

千葉市動物公園では、現在30頭のニホンザルを飼育しており、冬の寒い季節は暖を取るために数頭で身を寄せ合って過ごしています。

そこで、サルに暖を提供するためサル山の中でたき火を行い、その後、アツアツの焼き芋をサルに提供する「サル山でたき火&焼き芋タイム！」を開催しますので、お知らせします。

また今年は、サル山付近で来園者向けの焼き芋販売も行いますので、併せてお知らせします。

1 実施日（全7回）

1月13日（日）～2月24日（日）の毎週日曜日
 各10:30～12:00
 ※雨天、強風等の場合は中止となります。

2 場所

千葉市動物公園内 ニホンザル展示場 サル山

3 内容

サル山の中でたき火を行い、その中で焼いた芋をサルたちに提供します。

飼育担当者の解説を聞きながら、サルたちがたき火を見てどのような反応を示すのか、また、アツアツの焼き芋をどのようにして食べるのかなどの様子をご覧ください。

4 来園者向け焼き芋販売について

イベント開催期間中の1月13日（日）、2月10日（日）、2月17日（日）、2月24日（日）には、サル山付近で来園者向けの焼き芋販売を行います。



数頭で身を寄せ合うサル



たき火と焼き芋に興味津々のサル

<参考>

ニホンザル（ホンダザル）について

1 種目

霊長目オナガザル科

2 体長

雄53～60cm、雌47～55cm

3 分布

北海道を除く日本

4 特徴

霊長目の中では、最も北に生息していて、複数のオスとメスを含む群れで暮らしています。尾は短く、体毛は茶褐色や灰褐色をしています。顔のほお袋には、食べ物を一時的に溜め込んでおくことができます。

5 当園での飼育数

雄10頭、雌20頭 計30頭